

## 平成24年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 夢真ホールディングス  
 コード番号 2362 URL <http://www.yumeshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 矢島 英一

TEL 03-5981-0672

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	8,139	90.5	897	90.5	964	102.9	574	193.1
23年9月期第3四半期	4,273	17.6	471	11.7	475	5.2	196	28.4

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 564百万円 (147.3%) 23年9月期第3四半期 228百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	9.82	
23年9月期第3四半期	3.25	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第3四半期	7,827	2,154	24.7
23年9月期	6,629	1,757	23.5

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 1,931百万円 23年9月期 1,560百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期		1.00		1.00	2.00
24年9月期		1.50			
24年9月期(予想)				1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,200	64.3	1,300	139.5	1,400	210.2	850	731.4	14.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期3Q	74,573,440 株	23年9月期	74,573,440 株
24年9月期3Q	16,032,485 株	23年9月期	15,891,584 株
24年9月期3Q	58,557,442 株	23年9月期3Q	60,306,581 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11
4. 補足情報	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、復興関連需要などから国内景気が緩やかな回復基調で推移したものの、依然として続く円高、電力供給不足の不安などもあり、景気の先行きは不透明な状況であります。

建設業界におきましては、東北地方での復興工事は本格化しないものの、首都圏での改修・補修工事、耐震補強工事の増加、住宅ローン減税等の政策による、新設マンション着工戸数の増加等を受け、建設投資額もリーマンショック以前の水準に近づきつつあります。また、ゼネコン各社の抱える技術者の高齢化、若手の人材不足が深刻化しており、全国的に技術者が不足する事態が生じております。

エンジニア派遣事業における顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業界におきましては、円高、欧州の景気後退は続いているものの、輸出企業を中心に一定の生産回復の兆しが見受けられました。また、平成23年12月からのエコカー補助金再開に伴い自動車販売が好調に推移したことにより、企業収益の改善につながりました。その結果、設備投資に持ち直しの動きがみられたものの、景気の先行きが不透明であるため、一部研究開発費の削減や採用の抑制が続いております。

このような事業環境の下、当社グループでは、建築技術者派遣事業において、建築技術者の首都圏での需要拡大、東北復興の本格化に備え、採用活動を強化してまいりました。また、エンジニア派遣事業においては、採用の強化及びコスト管理の徹底、営業の効率化による稼働率の改善に注力しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高8,139百万円(前年同四半期比90.5%増)、営業利益897百万円(前年同四半期比90.5%増)、経常利益964百万円(前年同四半期比102.9%増)、四半期純利益574百万円(前年同四半期比193.1%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①建築技術者派遣事業

当社グループの中核事業であります建築技術者派遣事業におきましては、東北地方での復興工事は本格化しないものの、首都圏での、新設マンション着工戸数の回復、改修・補修工事、耐震補強工事等の増加、東京都内でのオフィスビル着工の増加、さらに慢性的な技術者不足の影響により、その需要は旺盛となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の平均稼働率は98.0%と前年同期平均96.6%と比較し1.4ポイントの増加となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,719百万円(前年同四半期比21.5%増)、セグメント利益は862百万円(前年同四半期比35.6%増)となりました。

#### ②エンジニア派遣事業

エンジニア派遣事業におきましては、主要顧客である製造業各社において、自動車メーカーを中心として、東日本大震災の影響等による生産の落ち込みから回復基調にありました。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界において、ここ数年抑制していた各企業のシステム投資が持ち直しの動きをみせております。一方で、その他のメーカー各社においては、円高、電力不足等の影響により先行きが不透明となっております。

このような事業環境の下、主に機械及びシステム系技術者の採用強化及び新規顧客の開拓、稼働率の改善を営業施策の柱として取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,119百万円(前年同四半期売上高は142百万円)、セグメント利益は198百万円(前年同四半期は9百万円のセグメント損失)となりました。

③子育て支援事業

子育て支援事業におきましては、待機児童が多く保育サービスの需要が高い、東京都において認証保育所を、神奈川県において横浜保育室を計3園運営してまいりました。また、保育士の派遣を実施しており、施設及び人材の両方向から、子育て支援を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は209百万円(前年同四半期比14.5%減)、セグメント利益は32百万円(前年同四半期は9百万円のセグメント損失)となりました。

④医療介護支援事業

医療介護支援事業におきましては、高齢社会が進む中、医療介護支援サービスのニーズの増加を背景に、より良い医療介護支援サービスを提供することを目的とし、デイサービス施設を東京都文京区及び板橋区にて運営してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は91百万円(前年同四半期売上高は2百万円)、セグメント損失は13百万円(前年同四半期は32百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,198百万円増加し、7,827百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加610百万円、受取手形及び売掛金の増加168百万円、投資有価証券の増加405百万円等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて801百万円増加し、5,673百万円となりました。これは主に社債の減少1,240百万円、借入金の増加1,918百万円等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて396百万円増加し、2,154百万円となりました。これは主に四半期純利益574百万円、剰余金の配当146百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通り進捗しており、通期業績予想につきましては、平成24年4月27日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,304,430	2,914,776
受取手形及び売掛金	1,425,242	1,594,209
有価証券	777	105,600
たな卸資産	1,324	1,172
その他	259,546	249,255
貸倒引当金	△74,374	△72,365
流動資産合計	3,916,946	4,792,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	761,042	745,872
その他(純額)	626,473	620,172
有形固定資産合計	1,387,516	1,366,044
無形固定資産		
のれん	717,591	650,263
その他	41,418	32,510
無形固定資産合計	759,009	682,773
投資その他の資産		
その他	613,565	1,062,208
貸倒引当金	△47,388	△76,009
投資その他の資産合計	566,177	986,198
固定資産合計	2,712,703	3,035,016
資産合計	6,629,650	7,827,667
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,606	12,713
短期借入金	26,000	1,456,830
1年内返済予定の長期借入金	929,164	850,844
未払法人税等	112,121	298,939
賞与引当金	231,488	148,311
その他	2,091,849	883,878
流動負債合計	3,400,228	3,651,517
固定負債		
長期借入金	1,088,407	1,654,434
退職給付引当金	266,441	252,292
資産除去債務	2,879	3,204
その他	114,449	112,104
固定負債合計	1,472,177	2,022,035
負債合計	4,872,406	5,673,552

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	867,545	867,545
利益剰余金	1,669,909	2,098,202
自己株式	△1,770,226	△1,789,972
株主資本合計	1,572,374	1,980,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,594	△49,853
その他の包括利益累計額合計	△11,594	△49,853
新株予約権	3,142	3,142
少数株主持分	193,321	219,903
純資産合計	1,757,243	2,154,114
負債純資産合計	6,629,650	7,827,667



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,273,227	8,139,957
売上原価	2,971,762	5,782,156
売上総利益	1,301,464	2,357,800
販売費及び一般管理費	830,428	1,460,578
営業利益	471,036	897,222
営業外収益		
受取利息	2,853	3,332
受取配当金	5	7,593
投資有価証券売却益	—	12,359
受取家賃	53,856	57,267
補助金収入	62,333	96,136
その他	40,319	20,045
営業外収益合計	159,368	196,736
営業外費用		
支払利息	53,056	53,135
賃貸収入原価	23,108	22,721
その他	78,747	53,252
営業外費用合計	154,913	129,109
経常利益	475,491	964,849
特別利益		
投資有価証券売却益	1,693	—
貸倒引当金戻入額	1,962	—
特別利益合計	3,655	—
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	16,450
その他	83,642	4,189
特別損失合計	83,642	20,639
税金等調整前四半期純利益	395,504	944,209
法人税、住民税及び事業税	75,909	345,780
法人税等調整額	124,228	△11,070
法人税等合計	200,138	334,710
少数株主損益調整前四半期純利益	195,366	609,499
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△720	34,711
四半期純利益	196,086	574,788

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	195,366	609,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,875	△44,956
その他の包括利益合計	32,875	△44,956
四半期包括利益	228,241	564,543
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	228,962	536,529
少数株主に係る四半期包括利益	△720	28,013

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 前第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年6月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
I 売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,884,016	142,078	244,851	2,281	4,273,227	4,273,227
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,884,016	142,078	244,851	2,281	4,273,227	4,273,227
セグメント利益 又は損失(△)	635,991	△9,899	△9,116	△32,903	584,070	584,070

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	584,070
のれんの償却額	△9,660
全社損益(注)	△98,919
四半期連結損益計算書の経常利益	475,491

(注) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない、当社の管理部門にかかる収益及び費用です。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2 当第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者派遣事業	エンジニア派遣事業	子育て支援事業	医療介護支援事業	計	
I 売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,719,428	3,119,938	209,207	91,383	8,139,957	8,139,957
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,719,428	3,119,938	209,207	91,383	8,139,957	8,139,957
セグメント利益又は損失(△)	862,761	198,206	32,952	△13,326	1,080,594	1,080,594

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,080,594
のれんの償却額	△61,996
全社損益(注)	△53,747
四半期連結損益計算書の経常利益	964,849

(注) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない、当社の管理部門にかかる収益及び費用です。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

連結子会社の株式会社我喜大笑の株式を追加取得したことに伴い、当第3四半期連結累計期間において、のれんの額が3,919千円増加しております。なお、当該のれんの額は、報告セグメントに配分しておりません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間より、株式会社ユニテックソフト及び株式会社夢テクノロジーを子会社化したことにより、報告セグメントを「建築技術者派遣事業」「エンジニア派遣事業」「子育て支援事業」「医療介護支援事業」に変更しております。

当該変更に伴う四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及びセグメント利益又は損失の金額に関する情報に与える影響は軽微であります。

なお、前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間については、変更後の区分方法により作成しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本準備金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	805,147	867,545	1,669,909	△ 1,770,226	1,572,374
当第3四半期連結累計期間末までの変動額					
剰余金の配当			△ 146,494		△ 146,494
四半期純利益			574,788		574,788
自己株式の取得 ※				△ 19,745	△ 19,745
当第3四半期連結累計期間末までの変動額合計	—	—	428,293	△ 19,745	408,547
当第3四半期連結累計期間末残高	805,147	867,545	2,098,202	△ 1,789,972	1,980,922

※ 平成23年7月11日の取締役会決議に基づき、140,000株取得したほか、別途、端株901株の買取をいたしました

(6) 重要な後発事象

当社は、平成24年6月28日開催の当社取締役会において、クレディ・スイス証券株式会社を割当先とする第三者割当による第1回乃至第3回新株予約権の発行、及び金融商品取引法による届出の効力発生後における、クレディ・スイス証券株式会社との間での第三者割当契約の締結を決議し、平成24年7月17日に新株予約権の発行価額の総額7,368千円の払込が完了しました。

(第1回新株予約権)

新株予約権の払込期日及び割当日	平成24年7月17日
新株予約権の発行総数	2,970個(新株予約権1個につき1,000株)
新株予約権の目的となる株式	普通株式2,970,000株
新株予約権の発行価額	総額3,935,250円(新株予約権1個につき1,325円)
新株予約権の行使期間	平成24年7月18日から平成26年7月17日
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり250円
新株予約権の行使による株式発行価額	総額746,435,250円
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の資本組入額	本新株予約権の行使により株式を発行する場合の増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項の定めるところに従って算定された資本金等増加限度額に0.5を乗じた金額とし、計算の結果1円未満の端数を生じる場合はその端数を切り上げた額とする。増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額より増加する資本金の額を減じた額とする。
行使価額の修正	平成24年7月18日以降、資金調達のため必要があるときは、当社取締役会の決議により行使価額の修正を行うことができる。行使価額の修正を決議した場合、行使価額は修正日の直前取引日の株式会社大阪証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値(同日に終値がない場合には、その直前の終値)の90%に相当する金額の1円未満の端数を切り上げた額に修正される。但し、修正日にかかる修正後の行使価額が200円(以下「下限行使価額」)を下回ることとなる場合には、行使価額は下限行使価額とする。
割当先	クレディ・スイス証券株式会社
資金使途	短期借入金及び長期借入金の返済原資

（第2回新株予約権）

新株予約権の払込期日及び割当日	平成24年7月17日
新株予約権の発行総数	2,270個（新株予約権1個につき1,000株）
新株予約権の目的となる株式	普通株式2,270,000株
新株予約権の発行価額	総額2,254,110円（新株予約権1個につき993円）
新株予約権の行使期間	平成24年7月18日から平成26年7月17日
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり325円
新株予約権の行使による株式発行価額	総額740,004,110円
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の資本組入額	本新株予約権の行使により株式を発行する場合の増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項の定めるところに従って算定された資本金等増加限度額に0.5を乗じた金額とし、計算の結果1円未満の端数を生じる場合はその端数を切り上げた額とする。増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額より増加する資本金の額を減じた額とする。
行使価額の修正	平成24年7月18日以降、資金調達のため必要があるときは、当社取締役会の決議により行使価額の修正を行うことができる。行使価額の修正を決議した場合、行使価額は修正日の直前取引日の株式会社大阪証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（同日に終値がない場合には、その直前の終値）の90%に相当する金額の1円未満の端数を切り上げた額に修正される。但し、修正日にかかる修正後の行使価額が200円（以下「下限行使価額」）を下回ることとなる場合には、行使価額は下限行使価額とする。
割当先	クレディ・スイス証券株式会社
資金使途	短期借入金及び長期借入金の返済原資

（第3回新株予約権）

新株予約権の払込期日及び割当日	平成24年7月17日
新株予約権の発行総数	1,840個（新株予約権1個につき1,000株）
新株予約権の目的となる株式	普通株式1,840,000株
新株予約権の発行価額	総額1,179,440円（新株予約権1個につき641円）
新株予約権の行使期間	平成24年7月18日から平成26年7月17日
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり400円
新株予約権の行使による株式発行価額	総額737,179,440円
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の資本組入額	本新株予約権の行使により株式を発行する場合の増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項の定めるところに従って算定された資本金等増加限度額に0.5を乗じた金額とし、計算の結果1円未満の端数を生じる場合はその端数を切り上げた額とする。増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額より増加する資本金の額を減じた額とする。
行使価額の修正	平成24年7月18日以降、資金調達のため必要があるときは、当社取締役会の決議により行使価額の修正を行うことができる。行使価額の修正を決議した場合、行使価額は修正日の直前取引日の株式会社大阪証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（同日に終値がない場合には、その直前の終値）の90%に相当する金額の1円未満の端数を切り上げた額に修正される。但し、修正日にかかる修正後の行使価額が200円（以下「下限行使価額」）を下回ることとなる場合には、行使価額は下限行使価額とする。
割当先	クレディ・スイス証券株式会社
資金使途	短期借入金及び長期借入金の返済原資

4. 補足情報

各会計期間における業績予想対比について

(1) 連結

(単位：百万円)

	第1四半期会計期間		第2四半期会計期間		第3四半期会計期間		第4四半期会計期間	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	—	—	—	—	2,800	300	2,968	461
決算値 (B)	2,663	282	2,768	355	2,707	326		
達成率 (B/A)	—	—	—	—	96.7%	108.7%		
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	1,368	186	1,500	179	1,404	110	2,543	▲ 24
前年同期比	194.6%	151.7%	184.5%	198.9%	192.8%	296.4%		

(単位：百万円)

	第2四半期累計		通 期	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	—	—	11,200	1,400
決算値 (B)	5,432	638		
達成率 (B/A)	—	—		
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	2,868	365	6,816	451
前年同期比	189.3%	174.8%		

(2) 単体

(単位：百万円)

	第1四半期会計期間		第2四半期会計期間		第3四半期会計期間		第4四半期会計期間	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	—	—	—	—	1,600	250	1,975	390
決算値 (B)	1,495	216	1,630	294	1,593	285		
達成率 (B/A)	—	—	—	—	99.6%	114.3%		
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	1,361	203	1,422	216	1,292	130	1,383	▲ 15
前年同期比	109.8%	106.0%	114.7%	136.0%	123.3%	218.3%		

(単位：百万円)

	第2四半期累計		通 期	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	—	—	6,700	1,150
決算値 (B)	3,126	510		
達成率 (B/A)	—	—		
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	2,783	420	5,459	535
前年同期比	112.3%	121.5%		